歲旦

所年

第五

歳旦

嘯月亭 南岡

こゝあり中ゝ
てゝめゝさし
つゝゑの春

仝

ゆる
わすゝと
年ゐ
鳥羽玉や
川の窓

嘯月亭下

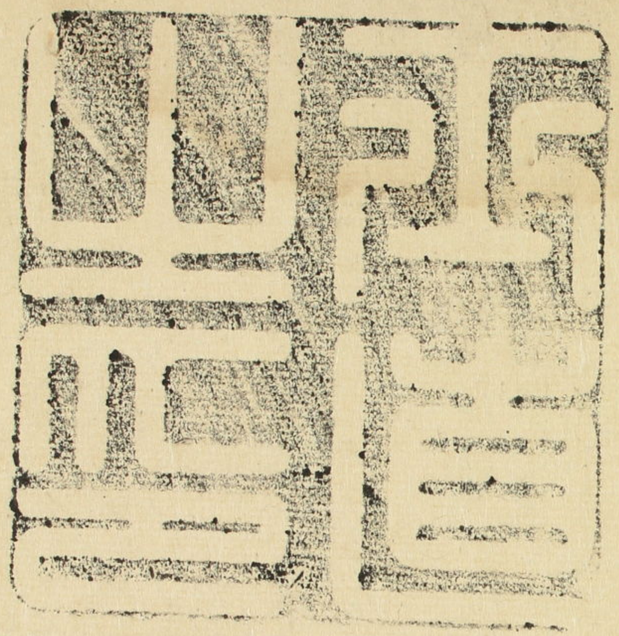
遠くより折をとり傍所　万中

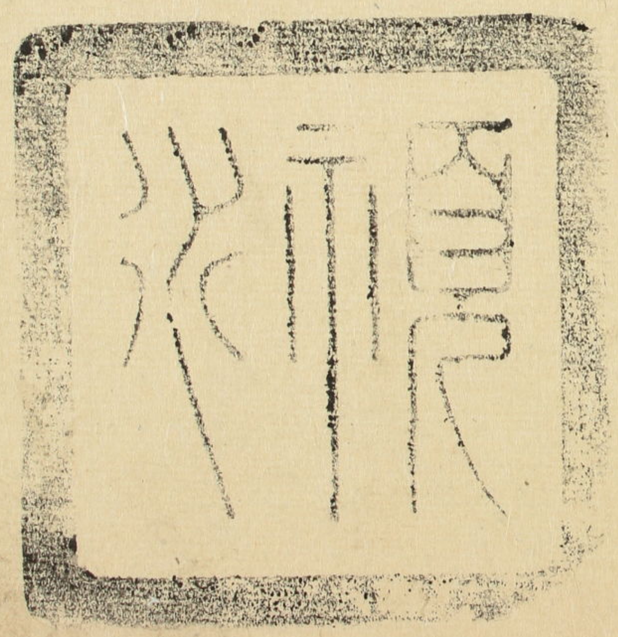
雛の井の玉水漱ぎ清く
流れ盥向へ向へ青く
先南へ向へ流れし

朝まてるかくらの名　南水

かくれ枝の
かくれんぼうえる
咲くらん

不生の世界を唐の春　南仙





小孔雀旦

四時のうつりかはり
変化と和合と
故ゝ自然の理
なるべし
されいの初まれ代の
文化も年の号の
ゆうりんらち
そなへ人の考

第五

千代の春鏡の神の宮ありい　鏡形と

新といふく宮の初の　一字　祝箱　半抔庵

春丸枝ふり折く

其　二

正直と丸いものも　碩丸

修ふ用く中の福丸　一字

腰折ふ筋ふ上の名とふと　蓮の坊

第五　樂屋ふ蓮中　抔行

屋根ふ用ふ春の柳

ふ卯ふく並ふ一門の孫　抔丸

平岡と世ふ春ふ服して　佶中

ふ　二　佶中

初影よふや月ふ光世界

ふ義世界ふ春ぬふ小　秋吾

春毎丸お神の下タハ方踏て　抔丸

[illegible]

試る人あまさ[illegible]　杜丸
くもやんと　淀初うり　北行
[illegible]の[illegible]咲て　梨吾

三四

[illegible]や今年の春　梨吾
[illegible]門と[illegible]けて　佳中
[illegible]　北行

[illegible]

金[illegible]山月[illegible]　杜庵下連中
[illegible]　五南
[illegible]初の暉く　徐庸
[illegible]　往孔敷[illegible]　[illegible]

三　二

[illegible]の仮[illegible]て　杜[illegible]
世と[illegible]　文南
[illegible]　佳況

ことし

如雨や笠ゝ眼鏡の初霜　佳況

ものの遠先とゝ行る幸徒　乙児

二ゝ行ゝゝ閑ゝの春四ゝ猶寒て　蓑則

ゝゝ四

ゝゝの奥やゝゝの遠傍　蓑則

春ゝ暮の老病ゝ薬ゝる宝　佳況

蓑ゝ会ゝ西の冥ゝの咲ゝて　徐庸

ゝゝ五

遠ゝ年やゝ人ゝゝゝ名ゝゝ代の香　徐庸

仁の一ゝゝ咲くゝゝゝ　蓑則

蓑ゝゝの又ゝ春ゝゝゝ暮ゝゝ　立斎

蓑ゝ　世方庶ゝ遠年

門ゝ行やゝ山ゝ行ゝゝゝゝ　徳阜

年ゝゝ蜂ゝゝ　麦の眼　桂二

さゝ咲ゝかゝゝの秋姫ゝゝ　如泉

二

蓬莱の陽い廣きふの小　如泉

蓬莱の神の書　松瓦

春の水千枝の遠き梅の花　南里

二

書ぬやうな方多の梅の花　南里

梅さく梅の馬の仮　星宙

梅の香に人の来　桂甫

四

初日の出うり多むの表　桂甫

見うまうまの恵む金憂　昨非

頭の書文入れり詠て　極二

二

門雪　梅の雪　桂二

月一年うり雪ん　也信

金元名ね人て　梅瓦

こゝ六

雜俳門の初と白玉椿の香　杉丸

今と成ぬ岩ぬ入ぬ　穂阜

人知ぬ春ぬ小仏丁待て　里宙

こゝ七

月ぬ春ぬんぬ京ぬ内ぬ物の匂　里宙

白ぬ新ぬ初ぬ白ぬ茶　杉丸

猪ぬ月ぬ月ぬ寒ぬ　吟水

こゝ八

初春や山ぬ日と　ぬふぬぬ　吟水

射ぬ光ぬ光ぬ　ぬ新ぬ　ぬ

春ぬ代ぬ道ぬ　ぬ京ぬ　ぬびぬ　ぬ信

こゝ九

雨ぬ月ぬ月ぬ別ぬ　ぬ信

人ぬ面ぬ　ぬぬぬ　ぬ信　桂南

御ぬ地ぬ　ぬ初ぬ　ぬ阜　穂阜

[illegible] 蓮子上連中

[illegible]の句 民五

[illegible] 可笛

[illegible] 紫呂

[illegible] 紫苑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千金の[illegible]あや福寿草 彦也

[illegible]とうの居保 亀林

千翁[illegible]の蝶 狂りもて 歩乃

[illegible]

若水や空[illegible]古さ[illegible]の気 歩帝

[illegible]る 恒の移り香 民五

[illegible]人[illegible]と[illegible]て 亀林

こゝ五

遠方にゆき出でてとゝるの春　亀城

老木にも花の咲くや屏　芳丸

一挺の墨をもてぐるぐるとまはす　めうこ

こゝ二

世の中は九月初りの淡屏　めう

彼方矢やりねるる室の小　素呂

箱屏に多の彩子流せて　可留

こゝ七

樽屏の先へ引ずり掛る家　平留

何事恵方へ向れ曙　芳池

長閑さに小あゆを掉さして　民五

ひるの月　玉壺　連中

一りう後の見えこ孤茶中　子東

春し於ゝき其の物深の　旅代

遅りるゝ小雪ゝ春くれて　素朶

[illegible]

[illegible]　宇馬

射姫　[illegible]　墨女

[illegible]　子東

[illegible]

油[illegible]　[illegible]　藁原

鳥飛[illegible]　虞呂

[illegible]　呂朝

[illegible]

[illegible]　呂朝

[illegible]

[illegible]　呂[illegible]

[illegible]　宇馬

[illegible]

[illegible]　秋浦

[illegible]

[illegible]

[illegible]ニの麦を
[illegible]

西[illegible]麦の枝とむの芽　帝枝

枝の芽ふかふくる庭　、

[illegible]を投げ　、

大[illegible]の名ふ　宗枝

[illegible]の枝長　、

[illegible]て　、

[illegible]千町田　羅牛

[illegible]初　、

[illegible]　、

[illegible]　流資

[illegible]の門も　、

[illegible]の引抜て　、

竹二

寄初雨引屋の白の影き

雨を聞くとなく猫蓋

、

此夕りと貢くるまかりて

、

僧 洞羽

蓮の葉の露の笑ひと老て

こまの引屋に咲 宵のむ

ゆくるる おくりの声 ものまて

、

僧 麦二

急くるる時 引屋の影き

初りの白 弟の秋

、

王仁と 野の風 こまりて

、

かいよの 名を咲 ぬしの春

行くと 初と 傍 咲つく

雅兎

、

産下るの 真の孫 見 羽 つきて

、

初子の日と元日の有
ける時の松の枝
、

貴賤共に祝ひて細の玉藻
限りなき代の住吉の松の
人の心の志の長の寿の
常盤なる海の底迄

未詳

、

、

、

月や改
栄る

侍る人の春の栄
ける侍の山と遊
馬場を家の初まで
、

人口
行末長き万代
子孫
、

、

年々
侍る人の宝数
八年の市

、

歳旦

房州
玉泉

又一とせかさねるもしや　ほうらい姫

何となく我宿の春

まれ〳〵古今の巻をしらずして

人日

晩に踏てもおはいそく

年々　世話作

福草は家のまつりかな　閑志

歳旦

法を抱く人の

月よりも君を帰るその初日かな　寸揚庵

年々

世の中の為の所とするも

あなたは今は昼の花をおくらせて

煙の中しとしたるね

春雪

雪やとりのとの日和も　雪庵

かすみ信濃の宮の柳さくら　柳葉

、

降雨や柳の糸に更ぬ　雪雨

雨ぬれて笠打しめる　柳吟

旦雪　柳庵

春雨の陰とゝ井戸のむ　可功

ゆりのかをりごとにまよふ

、

ぬれ柳油ぬりやぬ視る　雪雨

年の屋ゝ門の松上に鶴ゝ

、

、

雪の上の打ち声ゝ初りぬ　眉寿

暮ゝ水ゝの明の歩

、

夏月

行燈と細くとぼす軒の雨

、

月すさとぶくよる遠解の張れば　清之

年こえぬるものとやなるらむ

、

元和やぶくぬる田面一千里　李慶

汀家ぬるのぬる入る福寺中

、

初秋月ぬるぬる軒の雨　反字

草の香ぬる月の走りや雨の香　不磯

落葉を紀まぬる石の初のもの　玄周

又水や氷ぬる解る瓶徒　玄麻

蓬莱ぬる雨初夏と人屋ぬる　尼尹祥

辛巳

天長年中民間童謡 信濃

[illegible]

[illegible]

人日

八月表　四方紀

[illegible]　主人

[illegible]　子家

[illegible]　一子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

人日

去年も今日も若菜ふ年の今日の
記録やら手ハいつまてく
手習ひはれんし

隔ちまちまちより溶かたの若菜摘　仙鳥

七日の若菜にはもそらハ京の水　女 蛙亮

ねかけの若菜つみて
ちさい下総の　左寧

人日

若菜つむハ摘と若菜かな　林三年

初根つむ若菜や年の三島暦　子昌

あさと初き摘れ色かな若菜かな　五風

つみためハ庵の若菜かな　看古

春興

八ウ表

桂園

一首

秀古

桂園

羽千

[illegible]

[illegible]

声とほく川千鳥夜の
霜夜の音　羽千

はつ山の月ふかく降りやかな　五雲

明ぼのも居待立待二十日月　宗長

我とても筆取る蝶も風立てる　子堂

長閑
八ち哉

牛引ものハ安し八幡の春　三止

はるさへ連なる桜茶を掛　一竿

初ひとつ柳ハこそさかえて　吉揚庵

桜ゆふかゝる富士の建立　文樵

[illegible]と指折れば　暮月

下戸なれば月を懽（コハ）いとゞ　止

涼風に柳なびくとゝもかんかき　守

さみだれつゞく梢ふる雨　菴

[illegible]ハとゝもうん月の出　遊

すゝ風にゝ[illegible]の雲　月

春雨号

柳なれ

春雨柳ぬれぬるゝ[illegible]　一子

[illegible]の[illegible]の川[illegible]　友子

竹[illegible]小[illegible]　友子

[illegible]刀持[illegible]　一子

[illegible]月半[illegible]　竹俊

馬道の木葉や秋の色　杉風

ちるとはさくらの花の雨　一子

若衆ぶりなる小男のまとりて　芝之

、

百万あい見て初て柳系

苗代をそこ水くりの色　一子

さくはなの花下ぶくの狂むし　馬原

、

芋の葉をとる芋ほね　馬原

通ひ路さけるかるこ　杉風井　一子

侵襲寒の夫ちまぶ　芝之

まるとも　杉有

雑色ちまと

まち行や月杉入　四季

春興

何のよし花八重さくら桜の色　茶帘

若やかに柳の初霞　白馬

立枝まて四方帰る柳の古木哉　一凡

ちらちらき桜の御く柳かな　去上

若水もと汲のまゝ初音かな　雅兄

若やかにこゝさ人も鶯の声　楓叔

元信掃おりの坂や梅の花　和斎

四季立　知多村来吟

門松や果もなき御慶しかな　玉孫

若柳も竹馬も河り梅の節　岩児

またしさ浅ね春見や門稜　文巴

福寿草の徳説ねと阿代の春　呂之

居待ちしや舌人ぬを小室　甲高

月に隠むしみ名や松衣紋　ゐ竹

[illegible]

庵の[illegible]の栄(はえ)あり　初春　玉亞宇

[illegible]

人は　神院　南之

[illegible]　竈山下

[illegible]　杉軒

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]　待元

[illegible]　所[illegible]

[illegible]　一桑

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

年[illegible]

門[illegible]の雨[illegible]柳さく初[illegible]ぬ　不二

年の冊[illegible]

[illegible]

[illegible]先[illegible]

[illegible]

[illegible]文庫と[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初壺

[illegible]

第本

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

呂朝

[illegible]

三上

[illegible]

心ゝ奏侍ゝ今[illegible]ゝ　文雄

寄[illegible]

一帰ゝ[illegible]ゝ年本雄　蘭丞

[illegible]

[illegible]ゝ年の清酒　子秉

[illegible]

[illegible]の[illegible]　宰馬

[illegible]

[illegible]侍ゝ[illegible]　[illegible]

柳

[illegible]ゝ柳の柳水　流資

[illegible]

人[illegible]ゝ[illegible]の奥　素吾

[illegible]

[illegible]ゝ年の[illegible]　徐庸

四石

宝永開ちくりの頃　佳況

湊標

春とこふきやとやの年の暮　蓑則

蓬生

二年目を人まち白く歩まれ　乙児

ままや

世のひのきさ沢や二年の関　立甫

於合

やのとこの白乳ヒ紙の跡　秋浦

芋月見

静さやすりこの月の年の月　沽中

落月

おうこの稲こたなやの紀　杜九

新兵

月のうこの名ふふるの恒　梨香

乙丑

年忘炉辺の紬　楚竹

玉言

ふいりて新年ゝ　うゝの霜　霞吹

春月三日

等ゝ月の新年　季ト

こゝて

茶用ゝ年の寿儀　陶英

蛍

秋をいとふ草のやどりて　押仙

こゝの月

年の見いとゝ　ゝの恒　以三

篇次

かの火ゝ　ゝの糸　也信

四ゝ

於年中ゝ　人ゝ　如泉

[illegible]

一[illegible]　桂育

有[illegible]

[illegible]　衣砧　桂二

[illegible]

髮[illegible]月[illegible]　穂皐

[illegible]

薫乃[illegible]（テアハセ）[illegible]　昨非

[illegible]葉

[illegible]　星宙

[illegible]

[illegible]　松羅

[illegible]

[illegible]　羅中

柏末

[illegible]　希梅

扶窗

[illegible] 竹賣　雅克

[illegible]

歯のあらさ　僧　変二

夕[illegible]務

[illegible]　不磯

みのも

[illegible]　僧　洞羽

幻

世[illegible]　尼　尹祥

白[illegible]

[illegible]　有路

あ[illegible]

[illegible]　青麻

竹川　文

[illegible]　真角

梅花

うぐひすの笛ふく梅の陰　如有

雀

雪ちるとみしは雀の羽ぶき　民立

紙鳶

かるがるとあがりつゝ行紀　平笛

早蕨

さいしの書と伴の文　亀城

霜月

やりすまとと待ちなれの音　歩常

ゆるまぬや

折ゆるかるゝ枝おるる雪　蘭呂

降ゆゑ

寒ひのうまれまつ鶏の聲　為兆

かけうつ

やりぬるの軒端の梅の香　梅児

[illegible]

[illegible]　　文字

[illegible]　　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　蓮台房

不[illegible]　　一字

[illegible]　　宝宙

[illegible]　　南星

ウ

穂皐

也信

桂二

桂甫

如泉

昨非

牧夜

沽中

牧光

梨吾

牧竹

立南

咲ふくらんの梅を見て　住況

移ふとも色ふかく移さぬ梅　乙巳

仰ぎ見るり信とつゝさゝふ北　徐屠

いりかゝるもとしをハ独恨　蓑則

因かくと蕊のうらうと丈とる地　煤浦

住ふとなく牧のよるの牧　梅史

三十のうちの年　出いのあ[アワナ]ふ家と云ふ代や　民丑

鶯の声の同[ヤリ]対うあつめけ　亀体

第[ヨ]通りと撞て探て[ラウ]賞　歩考

春色ふかいかのあの山　如有

獨ぬと猫の笑ふ　閑舎　蕪考

特の新の新のうらうと風　為也

さかりとぞ思ふ　雨傍　まこと

ゆくすゑ　雅光

きれば　ゆきこゝろの　こゝろくと　平留

今宵の月は　雲隠れぬる　栄房

所為とぞ　小侍従　有秀

ゆゑ　格言　仏　平平

日かりこゝ　ゆくすゑ　ながめ　流資

雲の中の　ゆくすゑ　有

人形　ゆくすゑ　情　心之

伊勢　雲の　香　風の　彦欽

月　雲　ゆくすゑ　ゆくすゑ　平ノ

ゆくすゑの　門　庵　引　坊　栄房

秋あるこゝいとゝの長き　柳仙

ミヲ　ゆくゝまでや　柱杖　傳　河羽

早くとまる　膳の中なる　希杖

旅新　行くゝ　あるのうら　眉寿

月まつ　琴　玉泉

明石の尼を　見て　羽六　三上

多くゝ　涼しさ　ゝ　あと　吹　宰馬

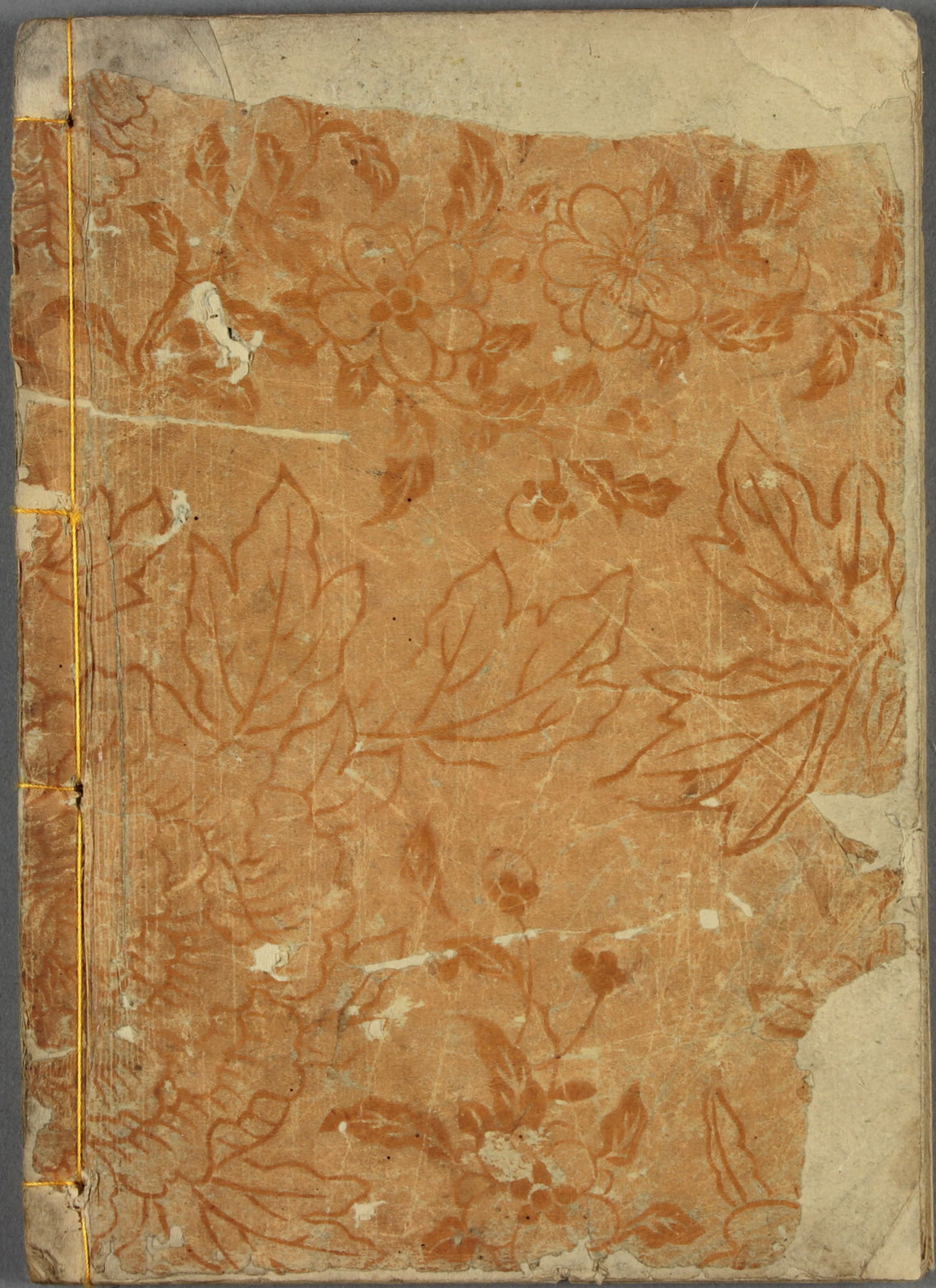
かゝの　の　場の　水　ゝ　支ゝ

新　ゝ　高　低　巫女の　医馬　蒙象

紀ゝ　嘘　ゝ　月　の　ゝ　渡ゝ

半　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　尼　尹裡

傘　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　確　真角

影と以　部行と小はあき　子東
空ゝ晴　月さけ　秋　炮　ゝ麻
三ウ
しなとゝとゝ　ゝ　侍氣　反字
第稼ゝ　世の恨い　危　不磯
空の色　り　時ゝ中ゝ　ゝ　平功
川　紙　ゝ　川ゝ　李淡

言あゝ　ゝ　ゝ　ゝ　呂朝
五十四　帖　ゝ　の　猶　未吾